

## 学校経営推進費 評価報告書（最終）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立摂津高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実 生徒の希望する進路の実現
評価指標	1 スタディーサポートにおける GTZ 平均 2 授業アンケート「興味関心が高まった」、「知識技能が身についた」における肯定率 3 国公立大学・難関私大合格者数
計画名	校内全面無線化による学校と家庭をシームレスに結ぶ学習環境構築と視聴覚教材を活用した授業改善による学力の充実

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1 自信をもてる確かな学力の育成と夢や希望の実現に向けた進路指導の充実 (1) 新学習指導要領を研究し、各教科の「つきたい力」を明確にしたうえで計画的な授業研究により授業力を向上させる イ 各授業で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現をめざす活動を中心に据え、現代的な諸課題への対応力の育成を図る。
事業目標	R2年度までに国公立と難関私大合格者 150 名以上、センター試験 100 名以上受験をめざす。 (関関同立産近甲龍合格者 H27 : 74 名、H28 : 129 名、H29 : 69 名)
整備した 設備・物品	プロジェクター（天吊り型）VPL-EX455 無線 LAN アダプター-Chromecast2 学情無線 LAN 用 AP WHG-AC1750AL
取組みの 主担・実施者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境構築・整備—校務情報 PT（主担：教諭）</li> <li>・ 授業改善—授業力向上 PT（主担：指導教諭）</li> <li>・ 学力定着—進路指導部（主担：進路指導主事）</li> </ul>
本年度の 取組内容	<p>本年度は、新型コロナウイルスのため年度当初に休校が続いたが、その間に教員が ICT を使った教材の研究、作成に取り組み、学校再開当初から多くの教科、科目で ICT 教材を使った授業が行われた。</p> <p>教員だけではなく、生徒による利用も進んだ。部活動について 2・3 年生が動画を作成して、1 年生に向けて教室でプロジェクターを使って部活動紹介を行ったり、2 年生の総合探究の授業において生徒が作成した CM を各クラスで発表したりするなど、あらゆる場面においてプロジェクターを使用するようになった。</p> <p>パワーポイントや映像の投影だけにプロジェクター使用するのではなく、Wi-Fi との併用によるネットワーク活用も増え、Google Classroom を活用してアンケート結果をオンタイムで表示するなど、当初の予定以上に活用の幅を広げている。</p>
成果の検証方法 と評価指標	1 スタディーサポートと進路マップにおける GTZ の推移（R1 : C1 以上が 67%） …………… → 3 学年とも第 2 回の 9 月で B 以上 50% 以上 2 授業アンケート 「興味関心が高まった」（R1 : 78.0%）…………… → 90% 「知識技能が身についた」（R1 : 80.7%）…………… → 90% 3 国公立大学・難関私大合格者数（R1 : 16 名）…………… → 150 名以上

<p style="text-align: center;"><b>自己評価</b></p>	<p>1 スタディーサポートと進路マップにおける GTZ の推移      令和2年度1年生第2回 Bランク以上が62.4% (H30:45.6%、R1:69.5%)      令和2年度2年生第2回 Bランク以上が49.6% (H30:27.8%、R1:28.6%)      令和2年度3年生は第2回を行わなかった第1回 Bランク以上が47.7% (R1:29.2%)      ..... (○)</p> <p>2 授業アンケートの 「興味関心が高まった」 →82.0%..... (○)      「知識技能が身についた」 →84.5%..... (○)</p> <p>当初目標の90%には到達しなかったが、授業アンケートの「教材活用」の項目について、すべての教科で肯定的な回答が増加した。また「興味関心が高まった」にも肯定的な回答が増え、生徒の学習意欲の向上につながっている。      (授業アンケート結果の推移) R1年度第2回→R2年度第1回→R2年度第2回      「興味関心が高まった」      国語 2.9→3.0→3.0 数学 2.8→3.0→3.1 地歴 2.9→3.2→3.1      公民 2.9→3.3→3.2 理科 3.0→3.1→3.1 英語 3.0→3.1→3.0      「知識や技能が身についた」      国語 2.9→3.1→3.1 数学 2.9→3.1→3.2 地歴 2.9→3.2→3.1      公民 2.9→3.3→3.3 理科 3.1→3.1→3.1 英語 3.1→3.1→3.1      「先生はプリント等の教材や ICT 機器を効率的に活用している」      国語 2.9→3.1→3.3 数学 2.9→3.2→3.2 地歴 3.1→3.3→3.3      公民 3.2→3.4→3.6 理科 3.3→3.4→3.4 英語 3.1→3.3→3.3</p> <p>校内全面無線化により、学校と家庭をシームレスに結ぶ学習環境の構築と視聴覚教材を活用した授業改善が今年度は大幅に進み、教員がスキルアップした。</p> <p>3 国立大学・難関私大合格者数 →15名..... (△)      大学入試の厳格化に伴い合格者数を増やすことはできなかった</p>
<p style="text-align: center;"><b>事業のまとめ</b></p>	<p>視聴覚教材や Wi-Fi 環境を活用した授業は、コロナ禍において格段に進んだ。ICT の活用は今後も必要不可欠であり、国の GIGA スクール構想とともに学校の教育環境も大きく変わる。生徒の1人1台端末を有効に使う上で、生徒個々のアウトプットを共有できるプロジェクターの存在は今後さらに必要になってくる。      本事業で整備した ICT 機器によって生徒の教育環境を大きく変えることができた。教員の意識改革にもつながり、今後の電子教材や電子教科書への対応が可能になった。</p>